集い・交わり・語らい・楽しむコミュニティゾーン

る消毒を徹底して、

国民

丸となってこの

難局を乗

越えて参りましょう。

健康管理、

マスクの着用と手洗

アル

コ

ル

に日

ルスが感染する環境を作らないようにし、

## 伯耆しあわせの郷だより

含め一般貸出も停止しています。

とにかく、三密

(密閉

・密集・

密接)

 $\mathcal{O}$ 

コ

口

ナ

毎

【発 行】 伯耆しあわせの郷 ☎ 26 - 5581 http://www.shiawasenosato.jp 指定管理者 旭ビル管理株式会社



しだれ桜の花言 葉は「優雅」です。 淡いピンクの花が 垂れ下がる姿は、ま さに言葉通りです。

となり、 が 設 ス が 多くの公共施設が休館の措置をとっています。 宣言が発令されました。 でも 散り 0) 楽しめました。 L ていき満開になっ か 予防対策のため桜関連のすべての行 始 ついに東京圏と大阪圏そして福岡に緊急事 何とも先の見えない苦しい状況が続い  $\Diamond$ しだれ桜は 月 世界中で猛威を振るう新型コ ったのが 14 日 か 14 5 たの 3 月 日頃と約 **5**月 県内でも感染者が発生 30 が 6 日頃: 4 日まで教室の開 月 2週間以 咲き始め、 7 日 頃 上美 口 事が ナウ 最後 順 催 当 中 1 に 11  $\mathcal{O}$ て 花桜

### \* \* ラ 月 の 休 館 日 \* \*

#### 2020 **O** 5 May SUN MON TUE WED THU FRI SAT 28 29 30 2 1 6 5 7 8 9 3 休 館 日 10 11 12 13 14 15 16 休館 日 17 18 19 20 21 22 23 休館 日 24 25 26 27 28 29 30 休館 日 31

#### 鳥取県中部桜 MAP 外国語版が完成しました

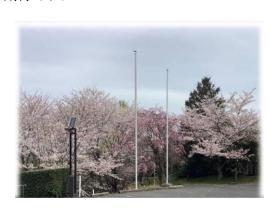
鳥取県の助成制度を使って、鳥取県中部桜 MAP (外国語版)を作りました。昨年製作した日本語版を元に外国のお客様を中部地区に誘致したいという想いから作成したものです。翻訳は伯耆しあわせの郷の外国語教室の先生にご協力頂きました。HPも併せて作成しました。

来年は活用できるようにしたいですね♥



# 反年も美しく咲きましざ

今年は、「しだれ桜の里まつり」も中止で 訪れるお客様も少なく残念ですが、しだれ 桜は変わりなく美しく咲きました。来年に 期待ですね!



# At the of the

事です。これを防ぐ事で武漢からの第

一派を抑制

る密集・密閉・密接な環境の中で起きているという

ることに成功しています。

# ます がご利用いただけ 5月より全館で fii

編

集

後

記

### オーストラリアの旅行社が当館を訪問

去る3月7日、オーストラリアのブリスベン市から「Journey to the East」という旅行社が当館を視察で訪れ、機織り体験と草木染を行いました。予定では6月頃お客様と共に来られる予定ですが・・・

今まで施設の一部で Wifi の運用をしていましたが、 5月より全館で利用できるようになりました。また、青 少年健全育成の観点から、一定の制限をかけて運用さ せていただきます。

なると覚悟を

になると覚悟を決める必要があるのかもしれするというものではなく、ある程度、社会経済活するというものではなく、ある程度、社会経済活い制しつつ、ある期間、このウイルスと付き合いの問題は、特効薬がない現状では、短時間で

な

して、 見えない敵との闘いが行われています。 なされ、 ても医療崩壊につながる爆発的感染拡大防 を伴う営業の自粛に要請がなされています。 の問題は、特効薬がない現状では、短時間で 政府により7 具体的には ・割から テレ ワー 8 クの実施や夜間の飲 割の行動制限の要請 社会経済活動 止のため 何とし

からない感染の勢いが強まっています。

その対策と

ち込まれたウイルスにより、

都会を中心に経路の

かし、今、フェイズが変わってきて、

欧米から持

全世界で猛威を振るう新型コロナウイルスです。 全世界で猛威を振るう新型コロナウイルスです。 と同時にこのウイルスの感染の特徴も おりました。と同時にこのウイルスの感染の特徴も おいってきた様なので、少し整理してみます。先日の NHKで放送された専門家達の感染拡大防止の闘いは、政府の発表する方針の根拠が示された形です。 まず、解ってきた事は、感染の拡大は、三密と言わまず、解ってきた事は、感染の拡大は、三密と言わます、解ってきた事は、感染の拡大は、三密と言わます。

N

廿